

観点別学習状況の総括と評定【中】

1 題材における観点別学習状況の総括の仕方の例

総括の流れ			総括の仕方	
具体的 評価規準	⇒	観点別の 評価	は「十分満足できる状況」、 は「努力を要する状況」	は「おおむね満足できる状況」、 は「十分満足できる状況」
ア - ア -	どちらかに重点を置かないで、同レベルの評価をする。	A B C	観点アは、2つの評価規準を設定している。 今回は、 <u>2つの評価規準に重点を置かないで評価した。</u>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ の場合はA ・ 、 、 の場合はB ・ の場合はC </div> <p>* の場合で、題材を通して本人としての向上が著しい場合を\uparrowで示し、Aとした。</p>
イ - エ -	それぞれ1観点から評価する。	A B C	イ、エとも、それぞれ1つの評価規準である。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はA、 はB、 はC</p> </div>

この方法によって総括した結果が、以下の集計表である。【2年生2学期 題材】

番号	氏名	音楽への関心・意欲・態度				音楽的な感受や表現の工夫			表現の技能	鑑賞の能力		
		ア	ア	個人内	総括	イ	個人内	総括		エ	個人内	総括
1					B			B				B
2					A			A				A
3		■	■	\uparrow	A		\uparrow	B				B
4					C			C				C
5					B			B				B

2 学期末における観点別学習状況の総括及び評定の仕方の例 【2年生2学期】

それぞれの題材の総括を集計し学期の評定を出す。

番号	氏名	音楽への関心・意欲・態度					音楽的な感受や表現の工夫					表現の技能					鑑賞の能力					学期末の評定
		題材	題材	題材	題材	総括	題材	題材	題材	題材	総括	題材	題材	題材	題材	総括	題材	題材	題材	題材	総括	
1		B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B		C	B	B	B	B	B	B	3
2		A	B	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A		B	A	A	B	A	A	A	5
3		B	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	A		A	A	B	B	B	A	B	4
4		C	C	C	C	C	C	B	C	B	B	C	C		B	C	B	C	C	B	B	2

(1) 学期末における観点別学習状況の総括の仕方【題材 ~ の組合せ】

* 4 観点に重み付けをしない場合の例である。

	評価規準が3つの場合	評価規準が4つの場合
総括がA	A A A、A A B	A A A A、A A A B
総括がB	A A C、A B B、A B C A C C、B B B、B B C	A A A C、A A B B、A A B C、A A C C、A B B B、 A B B C、A B C C、A C C C、B B B B、B B B C、 B B C C
総括がC	B C C、C C C	B C C C、C C C C

(2) 学期末における評定の仕方【4 観点の総括の組合せ】

評定	5	4	3	2	1
各観点の総括結果	A A A A	A A A B A A B B	A A A C、A A B C A A C C、A B B B A B B C、B B B B B B B C	A C C C A B C C B B C C	B C C C C C C C

* 「A A A B」の場合でも、Bが著しくAに近いBの場合は、5と評定する場合もあり得る。校内での共通理解が必要である。

3 学年末における観点別学習状況の総括の仕方の例 【2年生】

番号	氏名	1学期末評定					2学期末評定					3学期末評定					学年末評定				
		音楽への意欲・関心・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	評定	音楽への意欲・関心・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	評定	音楽への意欲・関心・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	評定	音楽への意欲・関心・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	評定
1		A	B	A	B	4	B	B	B	B	3	A	B	B	B	3	A	B	B	B	3
2		A	B	A	B	4	A	A	A	A	5	A	A	A	A	5	A	A	A	A	5
3		B	A	B	B	3	A	B	A	B	4	B	B	A	B	4	B	A	B	B	3
4		C	B	B	B	3	C	B	C	B	2	C	C	C	B	2	C	B	C	B	2
5		A	B	B	A	4	A	B	B	A	4	A	A	A	A	5	A	B	B	A	4
6		B	B	C	C	2	B	B	B	B	3	B	B	C	B	3	B	B	C	B	3
7		B	B	B	B	3	B	B	C	B	3	B	B	C	C	2	B	B	C	B	3

(1) 学年末における観点別学習状況の総括の仕方

学年末の総括	学期の総括の組合せ
総括がA	A A A、A A B
総括がB	A A C、A B B、A B C、A C C、B B B、B B C
総括がC	B C C、C C C

(2) 学年末の評定の仕方

評 定	5	4	3	2	1
各学期末 の評定	5 5 5	5 4 4	4 3 3	3 2 2	2 1 1
	5 5 4	4 4 4	3 3 3	2 2 2	1 1 1
		4 4 3	3 3 2	2 2 1	

学年末の評定は原則として、上記のとおりである。ただし、本人が学年末に向けて著しく向上した場合は、【4 4 5 = 5】【3 3 4 = 4】などの評定になることもあり得る。次に示すとおり、校内での共通理解が大切である。

4 観点別学習状況の総括及び評定をする場合の配慮事項

本事例に示した題材、学期末、学年末における総括及び評定の仕方については、あくまでも例であり、他にも様々な考え方や方法がある。

各学校や教科部等で、観点別状況の総括及び評定についての考え方や方法について十分に共通理解を図るとともに、「重点を置いた評価規準」や「個人内評価」の総括への生かし方について検討をする必要がある。

さらに、保護者から説明を求められた際にわかりやすく説明することができるよう、評価に関する記録を残し、資料を整えておくことが大切である。